

# 林木遺伝資源情報

第6号 - 2 2004.8  
独立行政法人 林木育種センター



林木遺伝資源保存林シリーズ No.8

## カラマツ *Larix kaempferi* (Lamb.) Carr. の林木遺伝資源保存林

林木育種センター 遺伝資源部 星 比呂志

### 1 はじめに

カラマツ属の樹種は北半球の亜寒帯～寒帯の広い地域に10種程度が分布しています。このうち日本にはカラマツ1種が分布しています。カラマツは日本の固有種です。天然分布は、北は宮城県の蔵王山系から西は石川県の白山、南は赤石山脈の天狗石山・山住山までですが、分布の中心は中部山岳地域です。これらは、産地によって区分されることがあり、それぞれ、川上・東山梨系、八ヶ岳系、浅間山系、富士山系、南アルプス系、日光系、北アルプス系及び木曽系と呼ばれています(図-1)。

カラマツは、中部地方はもとより関東、東北地方や天然分布域外の北海道でも良く育ち、寒冷地における重要な林業用樹種となっています。このため、林木育種センターでは、精英樹の選抜・検定、材質優良木の選抜・確定や交雑等に取り組み、推奨品種や登録品種等の新品種の開発を行っています。

また、国際的にも日本のカラマツは高く評価されており、1956年に日本の25箇所の天然林から採取された種子を用いた国際産地試験が、日本をはじめアメリカ、ニュージーランド及びヨーロッパの十数カ国が参加して実施されています。

このようなことから、カラマツにおいて、林業用品種や育種素材の母体となっている天然林の遺伝資源を広範に確保しておくことは、大変重要と考えられます。以下に、カラマツの林木遺伝資源保存林の現況を紹介します。

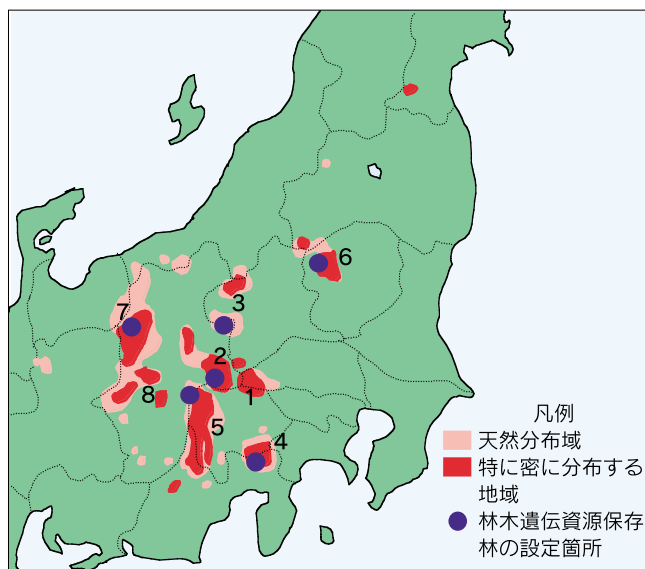


図-1 カラマツの天然分布と林木遺伝資源保存林の設定箇所  
1: 川上・東山梨系、2: 八ヶ岳系、3: 浅間山系、4: 富士山系、5: 南アルプス系、6: 日光系、7: 北アルプス系、8: 木曽系(分布図は、林弥栄1960「日本産針葉樹の分類と分布」等から作成)

表-1 カラマツの林木遺伝資源保存林の設定箇所数と面積

育種基本区	森林管理局	箇所数	面積(ha)
関東	関東森林管理局	2	265.37
	中部森林管理局	4	152.73
合 計		6	418.10
全保存林に占める割合		1.8%	4.5%

### 2 林木遺伝資源保存林の現況

カラマツの林木遺伝資源保存林について、育種基本区別森林管理局別の設定箇所数と面積を表-1に、設定箇所の位置を図-1に示しました。

設定箇所数は6箇所と比較的少ないものの、上述の8産地のうち、八ヶ岳系、浅間山系、富士山系、南アルプス系、日光系及び北アルプス系の6産地に1箇所ずつと、効率よく設定されています。1箇所あたりの面積は、約6ha～約250haと幅があります。

### 3 代表的なカラマツの林木遺伝資源保存林

以下に、代表的なカラマツの林木遺伝資源保存林を紹介します。

[東京カラマツ・イラモミ・ウラジロモミ10林木遺伝資源保存林]

富士山系のカラマツです。樹高は平均14mとそれほど高くありませんが、胸高直径は32cmと比較的太く、中には72cmに達するものもあります(写真-1)。

【お知らせ】 林木育種センターでは、林木遺伝資源を試験研究用に種子、花粉、穂木、苗木などで配布しています。厳密に品種・系統が管理されており、皆様の研究材料として最適です。価格は1点あたり消費税込で3,349円です。詳しい内容や入手方法につきましては、本誌裏面に記載のホームページをご覧ください。メールまたは電話でお問い合わせください。

所在	静岡県富士宮市 北緯35° 21' 東経138° 43'	富士山国有林46い、ろ、 47い、48い、49い、52い、ろ、 は、53い、74い、に、ほ、へ、 ぬ、る林小班
地況	面積：252.39ha 標高：1,560m~2,780m	温量指数 43 降水量2,573mm/年
林況	立木 カラマツ:平均胸高 直径32cm 平均樹高 14m 200本・133m <sup>3</sup> /ha	稚幼樹 カラマツ：0本/ha



写真 - 1 東京カラマツ・イラモミ・ウラジロモミ10林木遺伝資源保存林

[ 長野カラマツ・シラベ9 林木遺伝資源保存林 ]

南アルプス系のカラマツです。平均胸高直径62cm 平均樹高31mは、カラマツの林木遺伝資源保存林の中では最も大型のものです。材積も289m<sup>3</sup>/haと高くなっています。シラベ、コメツガなどと混交しており、本数割合は7%と少なくなっています(写真 - 2)。



写真 - 2 長野カラマツ・シラベ9林木遺伝資源保存林

所在	長野県上伊那郡長谷村 北緯35° 45' 東経138° 11'	黒河内国有林276は、1、2、3 林小班
地況	面積：53.48ha 標高：1,650m~2,200m	温量指数 32.8 降水量1,570mm/年
林況	立木 カラマツ:平均胸高 直径62cm 平均樹高31m 65本・289m <sup>3</sup> /ha	稚幼樹 カラマツ：0本/ha

[ 長野ヤツガタケトウヒ・ヒメマツハダ・カラマツ7 林木遺伝資源保存林 ]

ハケ岳系のカラマツです。カラマツの割合は本数で18%、材積で43%です。絶滅危惧種(絶滅危惧類)のヤツガタケトウヒとともに保存されています。

所在	長野県諏訪郡富士見町 北緯35° 55' 東経138° 19'	西岳国有林1309ち、ぬ、 わ、た、1310ろ、つ、ん、 林小班
地況	面積：5.92ha 標高：1,620m~1,755m	温量指数 47.9 降水量1,514mm/年
林況	立木 カラマツ:平均胸高 直径35cm 平均樹高21m 120本・140.5m <sup>3</sup> /ha	稚幼樹 カラマツ：0本/ha

[ 長野キタゴヨウマツ・カラマツ・コメツガ19林木遺伝資源保存林 ]

北アルプス系のカラマツです。カラマツの割合は本数で69%、材積で81%となっており、林木遺伝資源保存林の中では、高い林分です(写真 - 3)。

所在	長野県大町市 北緯37° 24' 東経137° 41'	高瀬入国有林547ほ、へ、 と、ろ、わ林小班
地況	面積：41.71ha 標高：1,400m~1,840m	温量指数 39.3 降水量2,800mm/年
林況	立木 カラマツ:平均胸高 直径27cm 平均樹高19m 387本・280m <sup>3</sup> /ha	稚幼樹 カラマツ：0本/ha



写真 - 3 長野キタゴヨウマツ・カラマツ・コメツガ19林木遺伝資源保存林